

令和6年度「南城市幼児教育の質向上強化事業」活動記録簿

幼児教育アドバイザー	大城美恵子	実施場所	各 園
実施日時	令和6年9月2日～12月23日		
事業の名称	保育の質向上に向けて「南城市幼児教育施設保育支援訪問」 【公立幼稚園1園・公立認定こども園1園・公私連携型園認定こども園3園 私立認定こども園4園・法人保育所18園・小規模保育園5園・認可外保育園6園（企業主導型3園含む）・家庭的保育1園】 計41園		
参加者 日程調整を図り、2名～3名で訪問する。	○教育指導課（3名） ・幼児教育アドバイザー：大城美恵子 ・幼児教育推進コーディネーター：守谷菊代 ・幼児教育係長：仲本留美子 ○こども保育課係長：大城奈々子 ○こども相談課保育支援員：親川裕子 ○懇談時：園の参加者 園長、主任、他（年長組担任等）		

1 内容

◎ 施設類型を問わず市内全園訪問する。

○ 保育参観(60分)

・参観視点「子ども主体の保育・遊びこみ」&指針・要領に基づいた保育
子どもの姿、環境構成、保育者のかかわり等、月案・週案を基に参観する。

○ 懇談(45分間)

・アドバイザーにより本事業2年目の趣旨について説明
指針・要領の研修5回受講後の取組等
・園長・主任から⇒保育の充実、質向上のため工夫していること
・質問・要望等

2 成果

・「子ども主体の保育」「遊びこみ」、指針・要領について知らせることができた。
子ども主体の保育の展開へと保育者の意識が変わってきた。
保育の改善や行事を子ども主体へと見直す園が見られるようになった。
・保育者が、指針・要領を手元に置き、指導案作成や園内研修等で活用
する園が増えてきた。

3 課題

・要領・指針に基づいた保育実践 を目指す。
・「子ども主体の保育」「遊びこみ」についての理解。
・幼児の主体性と保育者の意図をバランスよく絡める**共主体**の保育実践

4 改善策

・要領・指針に基づいた保育実践について研修の継続
・「子ども主体の保育」「遊びこみ」について保育者研修の継続
・「子ども・保育者の共主体の保育」について研修の継続(幼小連携公開保育指導助言において)
・保育支援訪問の見直し⇒保育実践指導を中心に支援する。(保育者の援助・環境構成・教材等)
・「保育者主導から子ども主体の保育へ転換」を実践した先進園の取組について研修会を3回実施す
る。(①園長・②主任・③保育者等へ)

